

[登り]

女坂と言っても「坂」はほとんど無い。

作業所の階段の約 1.5~2 段分の石を延々と登る。今どの地点という指標が無いのは苦しい。女坂の七不思議もそういう意図で建てられていなかった。中間の大山寺を超えたあたりから急になる。

もうそろそろボクの生涯の運動量を超えたと考えてしまった時に、ちょうど上から来た人からのアドバイスで楽になる。最後の舗装された階段を見てほっとする。

[下り]

登りの数十倍、気が楽になる。ゆっくり、マイナスイオンをまんべんなく浴びつつ下山。

[感想]

山登り対策 エネルギー切れを起こさない対策が必要かと思う。

水だけで何とかなるだろうと思ったが、最後の方はエネルギー切れを感じた。スポーツドリンクやチョコレート系は持っておこう。

男坂・女坂 両方の違いをネットで調べた。

公式情報には無いため両方登った人の感想をまとめてみると、男坂は阿夫利神社までほぼ短距離で進む分 急、そして、女坂は途中寺(大山寺)を巡る分遠回りになるが**男坂に比べ**緩やか。それだけの様だ。

「坂」の謎 男坂・女坂、どう見ても登山道なのに「坂」と名付けられた理由も調べてみたが見つからなかった。そちらの方が不思議である。

今後 阿夫利神社は江戸時代から信仰されてきた神社。

お百度参りをしてみたいが、伊勢原駅からのバスの時間が惜しまれる。そこまでは行かなくてももう 2,3 度登ってみたい。達成したときの充実感は最高です。